

# 東アジア移住共生映画祭 2010

熊本上映会

## 報告書

2010年7月20日

東アジア移住共生映画祭実行委員会

## 熊本映画祭会計報告

	収入	支出	備考1
総計	¥ 1,370,116	¥ 1,370,116	¥ -0
チケット販売	¥ 892,500	¥ 72,560	
土曜日-一般	¥ 37,500		¥1,500 × 25名
土曜日-前売	¥ 370,800		¥1,200 × 309名
土曜日-学割	¥ 9,000		¥1,000 × 9名
日曜日-一般	¥ 63,000		¥1,500 × 42名
土曜日-前売	¥ 409,200		¥1,200 × 341名
日曜日-割引	¥ 3,000		¥1,000 × 3名
コーヒー代		¥ 70,000	引換券回収分
蔦谷手数料		¥ 2,400	¥120 × 20枚
雑費		¥ 160	領収書送料
映画祭協賛金	¥ 200,116	¥ -	
熊本放送文化振興財団助成金	¥ 100,000		
協賛金団体	¥ 25,000		2万 × 1 5千 × 1
協賛金個人	¥ 10,000		10,000 × 1
企画委員会支援金	¥ 65,116		
会場使用料	¥ 267,500	¥ 267,500	
高橋守雄ホール		¥ 200,000	10万円 × 2日間
1411教室		¥ 67,500	33,750円 × 2日間
熊本学園大学支援	¥ 267,500		ホール・教室使用料
上映費	¥ -	¥ 109,408	
上映費		¥ 93,935	映画上映権等
音楽上映費		¥ 7,560	音楽使用
上映用機材購入費		¥ 7,913	ケーブル等
ゲスト	¥ -	¥ 186,501	
楊逸さん謝礼		¥ 105,420	
キム・テヨン監督謝礼		¥ -	
インドネシアダンサー謝礼		¥ 20,160	交通費、雑費込み
楊逸さん交通費		¥ 50,000	飛行機代
キム・テヨン監督送迎費用		¥ 10,921	ガソリン・高速料金
事務運営費	¥ -	¥ 299,040	
事務所使用料金		¥ 45,000	¥15,000 × 3カ月
通信費		¥ 9,000	¥3,000 × 3カ月
電気等光熱費		¥ 9,000	¥3,000 × 3カ月

	収入	支出	備考1
映画祭コーディネート費用		¥ 70,000	HP管理等
宣伝費		¥ 28,870	宣伝用送料等
諸経費		¥ 137,170	打ち上げ費用等
カフェ・写真展	¥ 10,000	¥ 37,800	
手芸品売上	¥ 10,000		売上の1/3
掲示用機材レンタル費用		¥ 37,800	写真展掲示用ボード
印刷費	¥ -	¥ 231,269	
デザイン費用		¥ 25,812	ポスター等
ポスター等印刷		¥ 187,658	グラフィック
その他印刷費		¥ 3,799	
名刺デザイン・印刷		¥ 14,000	
映像編集費用	¥ -	¥ 41,538	
ハイライトシーン		¥ 30,000	
リーダーフィルム		¥ 11,538	
5min	¥ -	¥ 50,000	
作成費用		¥ 50,000	
翻訳・字幕作業	¥ -	¥ 74,500	
翻訳・字幕作業		¥ 74,500	

2010年6月26日(土)、27日(日)の両日にわたり、熊本学園大学高橋守雄ホールにおいて、東アジア移住共生映画祭2010を開催しましたので以下に結果をご報告いたします。

## 1. 概要

開催期間中、7カ国10作品(長編4編、短編6編)を上映した。10作品中、8作品日本初公開である。10作品中9作品に、日本語字幕だけでなく英語字幕を付け加えた。

開幕作品	『女工哀歌』(アメリカ、88分)	
注目作品Ⅰ	『Made in L.A.』(アメリカ、70分)	日本初公開
注目作品Ⅱ	『ロニーを探して』(韓国、92分)	日本初公開
閉幕作品	『ヴィットリオ広場のオーケストラ』(イタリア、93分)	
フォーカスⅠ	『さよならわが息子』(ノルウェー、15分)	日本初公開
	『Maid for Sale』(フランス/レバノン、53分)	日本初公開
	『走るチャウン』(韓国、35分)	日本初公開
フォーカスⅡ	『ナターシャ』(韓国、31分)	日本初公開
	『ヒジャーブ』(スペイン、8分)	日本初公開
	『125 チョン・スンチョル』(韓国、21分)	日本初公開

関連して「日本の中の東アジア、韓国の中の東アジア」と題した国際シンポジウムや、上映作品についてさまざまな視点から解説する作品解説を行い、東アジアの「移住」と「共生」に関する参加者の理解を深める機会を提供した。このため熊本に招いたゲストは以下の2名である。

キム・テヨン氏	韓国	上映作品『走るチャウン』を監督した韓国の有名な映画監督
ヤン・イー氏	中国	日本語を母語としない作家として初めて芥川賞受賞した作家

さらに、併設のカフェでは熊本に暮らす外国籍住民の声を紹介する自主制作フィルム Voice of 5 Minutes を随時上映した他、東アジア各地の人々の営みを紹介する写真展も実施した。また、「東アジア共生コーヒー」としてネパールの村から届いた豆を熊本で焙煎したコーヒーや、タイの少数民族による手芸品を販売、あらゆる角度から「多文化共生」について考える契機にみちた映画祭となった。

今回は、初の有料化の試みにもかかわらず、また、26日（土）は大雨に見舞われる悪天候にもかかわらず、来場者は昨年度を大きく上回り、外国籍住民も含め延べ530人を記録した。来場者アンケートからは、大半が「初参加」であることがわかり、本映画祭が第3回目にして新たな広がりを見せたことを印象づけた。アンケートからはまた、企画そのものや上映作品について非常に高い評価を得ると同時に、すべてボランティアスタッフで翻訳・入力した字幕に関しては次回以降につながる建設的な批判を得ることができた。

以上のことから、今回の映画祭の意義は大きく以下3点に集約できる。

- (1) 日頃、見る機会の少ない「東アジア」の「移住」「共生」をテーマとした良質の映画に触れる機会を一般に提供できたこと。
- (2) 映画という娯楽媒体を通して異文化への理解を深め、自文化を見つめなおし、「多文化共生」とは何かを考えるきっかけを提供できたこと。
- (3) 熊本でこのような映画祭が開催されていること、それも日本で初めて「移住」「共生」をテーマにした映画祭であることを、来場者を中心により多くの人々に知っていただいたこと。

## 2. 実施状況

実施日程	2010年6月26日（土）、27日（日）		
会場	熊本学園大学 14号館 高橋守雄ホール		
入場料	当日：1500円、前売り：1200円（コーヒー&マカロン付） 学生：1000円、中学生以下無料		
チケット	1日目：当日券	25枚	(1,500円×25枚、37,500円)
	前売り	前売り	309枚 (1,200円×309枚、370,800円)
	学生	9枚	(1,000円×9枚、9,000円)
	2日目：当日券	42枚	(1,500円×42枚、63,000円)
	前売り	341枚	(1,200円×341枚、409,200円)
	学生	3枚	(1,000円×3枚、3,000円)
			合計：729枚 892,500円
入場者数	1日目：2010年6月26日（土）	250人	
	2日目：2010年6月27日（日）	280人	合計（延べ数）：530人

### 3. 実施形態

主催：東アジア移住共生映画祭 熊本実行委員会

共催：NPO 法人東アジア共生文化センター、コムスタカー外国人と共に生きる会  
NPO 法人くまもとレインボープロジェクト

後援：熊本学園大学、熊本県、熊本市、財団法人熊本市国際交流振興事業団、きくち  
韓国映画祭実行委員会、熊本日日新聞社、NHK 熊本放送局、KKT、テレビ熊本、  
KAB、RKK、エフエム熊本、エフエム小国、FM791、熊本放送文化振興財団

協賛：アジアナ航空熊本支店

特別協賛：株式会社丸菱、株式会社香梅、株式会社ココストアウエスト

### 4. 上映作品およびタイム・スケジュール

6月26日(土)		6月27日(日)	
9:30	開場	10:15	開場
10:15~10:30	開幕挨拶 ハイライト上映	11:05~11:13	ハイライト上映
10:30~12:00	女工哀歌	11:13~12:45	ロニーを探して
ランチタイム			
13:00~14:10	さよならわが息子 Maid for Sale	13:45~14:50	ナターシャ ヒジャーブ 125 チョン・スン Chol
コーヒーブレイク		14:50~15:20	作品解説
14:30~15:05	走るチャウン	コーヒーブレイク	
15:05~15:45	作品解説	15:40~17:10	国際シンポジウム  ヤン・イー氏基調講演 パネル・ディスカッション
コーヒーブレイク			
16:00~16:45	開幕セレモニー インドネシア舞踊 子供達による中国手遊び歌		
コーヒーブレイク			
17:05~18:15	Made in L.A.	17:30~19:05	ヴィットリオ広場の オーケストラ
18:15~18:45	作品解説	19:05~19:15	アジアナ航空券抽選会 閉幕挨拶

## 5. 来場者アンケート実施結果

回収数：合計 168 通 (1 日目：84 通、2 日目：84 通)

	6月26日	6月27日	合計		6月26日	6月27日	合計
性別				過去映画祭について			
男	22	28	50	参加	19	17	36
女	61	56	117	不参加	64	64	128
年齢				映画祭を知ったきっかけ			
20歳未満	6	7	13	新聞	12	9	21
20代	18	15	33	テレビ	5	6	11
30代	16	13	29	ポスター	4	10	14
40代	11	22	33	コミュニティボード	0	0	0
50代	23	17	40	フライヤー	4	8	12
60代	9	10	19	知人	50	41	91
70歳以上	0	1	1	ホームページ	0	0	0
職業				インターネット			
学生	15	16	31	その他	8	9	17
教職員	10	14	24	印象に残った映画(複数回答)			
会社員	21	17	38	女工哀歌	40	8	48
主婦	15	12	27	さよならわが息子	24	4	28
その他	21	24	45	Maid for Sale	24	3	27
何に関心を持って参加したか(複数回答)				走るチャウン	47	8	55
東アジア地域の言語・文化	34	31	65	Made in L.A.	11	2	13
移住共生というテーマ	37	35	72	ロニーを探して	0	17	17
映画	56	51	107	ナターシャ	0	27	27
その他	1	10	11	ヒジャーブ	0	28	28
良かったイベント(複数回答)				125チョン・スン Chol	0	16	16
キム・テヨン監督作品解説	10	5	15	ヴィットリオ広場のオーケストラ	0	18	18
開幕セレモニー	3	2	5				
Made in L.A.作品解説	6	5	11				
27日作品解説	2	15	17				
国際シンポジウム	4	22	26				
写真展	12	11	23				
Voice of 5 Minutes	8	12	20				
カフェ	20	28	48				

## 回答者の感想（抜粋、原文ママ）

- ・ 感動した。（20代未満、男性、高校生）
- ・ 今回初めて参加できて良かったです。まず、熊本で映画祭があったなんて正直知りませんでしたし、驚きました。スバラシイです。もっともっとたくさんの人達が参加して熊本の大きなイベントの1つになっていけばいいのになあと思いました。（20代、女性、その他）
- ・ いろんな映画を観て様々な文化をもっと理解出来て非常に素晴らしかった。映画の中で分からないことがあったが、作品解説があつてよかつた。また参加したい。（20代、女性、学生）
- ・ 普段見ることができない映像を見て、考える機会が少ない多文化共生のテーマを意識することにおいて素晴らしい映画祭であり、機会であると思います。（20代、女性、教職員）
- ・ PRがもっとうまくいけば、もっとたくさんの人に見て考えてもらえる。参加が少なく、もったいないほど充実した内容だと思います。（30代、男性、会社員）
- ・ 身近な研修生問題をあまりにも軽視していた自分にはっとさせられた。自分で出来ることから取り組もうと思った。（30代、女性、会社員）
- ・ 本日、映画を見たり討論を聞かせてもらったりして、自分の地域にいる外国人のくらしに目を向けなければならないなあと思いました。菊池市に住んでいますが、農家の嫁不足のため外国人との結婚を選ばざるをえない青年、その家族に対する偏見・差別は肌で感じます。企業においても日本人労働者が車で通勤する中、どんな日でも自転車通勤する外国人労働者（研究生）の集団を見ると考えさせられるものがあります。日本と経済格差がある国との間の、来る側と来られる側（受け入れる側）との互いを見る目（人として尊重しあう感覚）を互いが培っていかねばならないと強く思いました。経済格差を乗り越えて、人を人としてつなげていく映画祭であり続けて下さい。菊池映画祭も頑張ります！（40代、女性、教職員）
- ・ このような素晴らしい映画祭が熊本市で開催されて参加でき、本当に嬉しかったです。中国人研修生のお話なども心に響きました。今後もぜひ継続されて下さい。（40代、女性、主婦）



- ・ 5 minutes は良い企画、でも休憩時間は人が多くて音声聞こえない。質問も字幕を付けては？シンポは各人のテーマがバラバラで話がかみ合っていなかった。司会がもっと仕切る必要がある。質問したいフロアの人も多かったはず。保守的な熊本でこのような素晴らしい催し物を企画して下さい本当に感謝！どうか益々のご発展をお祈りしています。(40代、男性、教職員)
- ・ 学生が少ないのが残念。東アジア学科だけではなく経済・商学・他の学部でも国際感覚、とくにアジアへの目を向けた感覚が必要であるなら必須にすべきでは…共生という文字が重く影いていたように思うが、他の国より閉鎖的な我が国がアジアと共生するためには困難が予想されるのでよけいに若い世代に観て感じてほしい。(40代、男性、会社員)
- ・ 来年もこれからも熊本で開催されていくことを願います。アジア映画祭ではなく移住共生を考える意義のある映画祭であることを認識しました。(50代、女性、会社員)
- ・ 東アジア移住共生という言葉について理解していませんでした。こういうテーマ、課題での活動の大切さを感じました。日本は島国であり米国一辺倒の政治ですが、もっとアジアに目を向ける必要を感じました。(60代、男性、自営業)
- ・ こういう内容のイベントをやりとげる企画力と実行力に敬服します。熊本にとって大切な活動だと思います。(60代、男性、教職員)
- ・ 移住のことはマスコミなどで知っていた。女性や弱い立場の人々が悲しい思いをしている。グローバルな昨今せめて孤立せずに共生できるように地域、行政、国が手を打つべきだと思う。(60代、女性、その他)
- ・ 女工エレジーと Made in L.A. は同様のテーマを扱いながらラテン系と中国の違いという点が面白かった。ナターシャは小道具の使い方(タバコ)がしゃれていた。ナターシャの手を見て店員の老婆が「いい手をしている」と褒めるシーンは美しく、元妻がナターシャに心を開くのが上手く捉えていた。Voice of 5minutes もインタビューが事前によく勉強していたおかげでいいインタビューになった。最後のアプロ 11 は音楽家を探し回る所は7人の侍だと笑ってしまった。いい映画を集めてくれて多謝！！実行委員のみなさんありがとう。(60代、男性、その他)

## 6. マスコミによる紹介

### 6-1. 新聞（掲載順 - 添付資料参照）

- 熊本日日新聞 6月2日付朝刊  
「外国人との共生考える—26、27日に映画祭 熊本学園大」
- 西日本新聞 6月5日付朝刊  
「相互理解へ、移民の労働環境伝える  
東アジア移住共生映画祭 2010」
- 読売新聞 6月18日付朝刊  
「東アジア移住共生映画祭 移民との交流描いた 10 作品」
- 毎日新聞 6月22日付朝刊  
「東アジア移住共生映画祭  
26、27日 短・長編 10 本上映 熊本学園大」
- 朝日新聞 6月26日付朝刊  
「きょうから東アジア移住共生映画祭  
欧米・韓国の 10 作品上映 熊本学園大」
- 日経新聞 6月27日付朝刊  
「東アジア移住共生映画祭 16 作品を上映 熊本で始まる」

### 6-2. テレビ（放送順）

RKK

6月18日（金） 午後6時15分から放送の「総力報道！NEWS LIVE くまもと」で映画祭の告知。熊本会場のハイライトシーンの一部紹介。

NHK

6月22日（火） 午後6時10分から放送の「くまろく」で特集として約8分間放送。スタッフの作業風景や、上映作品『走るチャウン』、自主制作映画 Voice of 5Minutes の紹介、実行委員長・申明直が映画祭を始めた動機や目的、志など紹介（同日午後8時45分から縮小版の再放送あり）。

RKK 6月25日(金) 午後18時15分から放送の「総力報道！NEWS LIVE くまもと」で約8分放送。実行委員長・申明直のほか、共催団体「コムスタカー外国人と共に生きる会」代表やVoice of 5Minutes 制作者など実行委員のコメント紹介。

### 6-3. ラジオ (放送順)

FMK 5月23日(日) 午後5時55分から放送の「キャンパス・キュリオ」で映画祭の趣旨紹介。

RKK 6月26日(土) 午後12時10分から放送の「土曜だ！！江越だ！？」で映画祭会場から生放送で紹介。

## 7. 今後の課題・展望

映画祭終了後、さらなる発展のため、実行委員会で「評価すべき点」「改善すべき点」を議論し、今後の課題を明らかとした。主なものを以下に示す。

### 7-1. 評価すべき点

- ・ 上映作品の質の高さ
- ・ 初の有料化にもかかわらず、前回は大きく上回る観客動員数
- ・ 映画祭の趣旨に沿い、話題性もあるゲストの選定とその講演
- ・ 熊本に暮らす外国籍住民を紹介する自主制作フィルムの上映
- ・ カフェの新設
- ・ 日本語字幕と英語字幕の併記 (外国籍観客のニーズに応えた)

### 7-2. 改善すべき点

- ・ 本映画祭の企画趣旨をもっとわかりやすく伝達
- ・ 開催時期の再検討 (毎年悪天候に見舞われる6月下旬でよいのか)
- ・ 資金調達・広報宣伝活動の強化 (もっと早く着手すべき)
- ・ 企画運営スタッフの確保・増員
- ・ 作品選定基準の再検討 (商業映画を増やす、日本初公開にこだわらない等)
- ・ 開幕セレモニーの時間・方法、国際シンポジウムの方法の再検討
- ・ 字幕のレベルアップ (読みやすさ、入力位置等)

### 7-3. 今後の課題・展望

- ・ 7-2 の改善
- ・ 熊本発の映画祭として、熊本における認知度アップとコア・サポーターの形成
- ・ 日本初の「移住」「共生」をテーマとした映画祭として、東アジアにおける人と人、地域と地域のネットワークづくりに尽力

## 8. 熊本実行委員会

### 8-1. メンバー

実行委員長 申明直（熊本学園大学教授、NPO 法人 東アジア共生文化センター 理事長）

実行委員 江藤勝彦（東アジア移住共生映画祭 企画室長）  
寺本真悠子（東アジア移住共生映画祭 企画委員）  
盧恩明（東アジア移住共生映画祭 企画委員）  
兼川千春（東アジア移住共生映画祭 企画委員）  
玉財奉（東アジア移住共生映画祭 企画委員）  
中島眞一郎（コムスタカー外国人と共に生きる会 代表）  
森田恵子（NPO 法人 くまもとレインボープロジェクト 代表）  
馬場良二（熊本県立大学教授）  
円藤純子（熊本大学国際交流支援者会 理事）  
李珊（熊本学園大学准教授）  
盧善影（熊本学園大学非常勤講師）  
日笠山万希子（YPD 協会 代表）

### 8-2. 実行委員会

1回目 2009年12月17日（木）午後4時半より、於：熊本学園大学  
2回目 2010年1月20日（水）午後6時半より、於：熊本学園大学  
3回目 2010年3月1日（月）午後6時半より、於：熊本学園大学  
4回目 2010年3月23日（火）午後2時より、於：熊本学園大学  
5回目 2010年5月9日（日）午後2時より  
於：東アジア共生文化センター事務所  
6回目 2010年6月17日（木）午後6時より  
於：東アジア共生文化センター事務所  
7回目 2010年7月15日（木）午後6時半より（評価会）  
於：東アジア共生文化センター事務所

添付資料

外国人との共生の在り方を考える「東アジア移住共生映画祭」が6月26、27の両日、熊本市の熊本市学園大で開かれる。27日には芥川賞作家の楊逸さんをゲストに招きシンポジウムを開く。同祭実行委主管。3回目。

経済のグローバル化で近年はモノ、カネだけでなく人も国境を超えて移り住む。しかし差別や低賃金など移住者・外国人をめぐる人権問題が世界各地で起きている。

映画祭では、この問題をテーマにした韓国や欧米の長短編10作品を上映する。うち8作品が日本初公開。  
注目は米韓の2作品。米エミー賞を受賞した「MADE IN L.A.」(26日上映)

# 外国人との共生考える

## 韓国、欧米の長短編10作品上映

は、ロサンゼルス縫製工場で低賃金・長時間労働を強いられるラテン系移民を描いたドキュメンタリー。韓国の「ロニーを探して」(27日上映)は、テコンドー道場の師範イノがパンクファッション・トゥ



楊逸さん

ヒンとの交流を機に自分を見つめ直す物語。

幕あいには熊本で暮らす外国人の声を映像で紹介する。タイ、フィリピン、ネパールの暮らしぶりを撮った写真展もある。

27日のシンポジウムは、フ

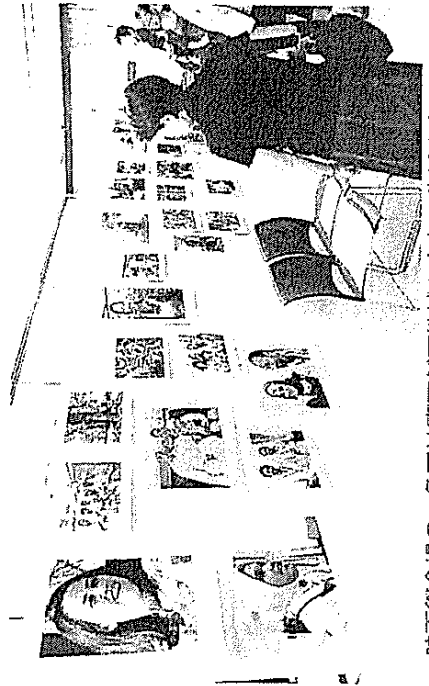
MADE IN L.A.



米映画「MADE IN L.A.」のポスター

芥川賞作家 楊逸さん交えシンポジウム

イリピン出身の継母に励まされる少女を描いた韓国の短編「走るチャウン」(26日上映)のキム・テヨン監督と楊逸さんが、パネリストを交えて共生について話し合う。同映画祭は熊本の後、西原村(9月)のほか北九州市、ロシア沿海州でも開かれる。  
1日共通券は前売り1200円  
http://film.witheastasia.org/



映画祭会場の一角では東アジア地域の人々の生活をとらえた写真展も開かれ、多くの人が見入っていた＝熊本学園大学

### 「東アジア映画祭」開幕

## 外国人との共生を考える

熊本学園大

映画を通じて外国人との共生の在り方を考える「東アジア移住共生映画祭2010」が26日、熊本市の熊本学園大で始まった。実行委（委員長・申明直樹大教授）主催。NPO法人東アジア共生文化センター、「コムスタカ」外国人と共生に

きる会、NPO法人くまもとレインボープロジェクト共催。27日まで。

開幕式では申明直樹実行委員長が「熊本や九州の人が、映画祭を通じて東アジアについて理解を深めるきっかけにしてほしい」とあいさつ。中国都市部のシ

ンズ工場、低賃金で働く農村部の少女を描いた女子哀歌（米国）や、衣類工場に低賃金・長時間労働に従事する米国の移民労働者のドキュメンタリー「Made in LA」（米国）などを上映した。

27日は午前10時15分

開場、ソウルのテコンドー道場を舞台にした友情物語「ロニーを探して」（韓国）などを上映する。午後3時40分からは芥川賞作家・楊逸さんの講演と楊逸さんによる国際シンポジウムがある。（藤本英行）

「時が遼む朝」で2008年、日本語を母国語としない初の芥川賞作家になった中国籍の楊逸さん(46)が6月27日、熊本市の熊本学園大であった「東アジア移住共生映画祭2010」の国際シンポジウムで講演。楊さんは自らの体験を踏まえ、「中国人花嫁」の理想と現実について話した。

## 日中結婚の理想と現実

芥川賞作家・楊逸さん講演

楊さんは、日本に嫁いだ中国人女性が、嫁不足に悩む農家の男性を中国への見合いツアーに引率する物語「ワンちゃん」で07年の「文学界新人賞」を取った。その取材や、自分の来日直後の体験などを通じ、日中国際結婚の課題は「経済格差」だといった。

楊さんの来日は1987年。日本はバブル経済の真っただ中。「日本に着いたときの全財産は財布の3万円。でも日本人は今と違ってパンパンお金を使っていた」と当時の驚きを語った。「両親は学校の先生だったので、中国では普通の家だった。日本では工場で安い賃金のアルバイトをしていたが、それでも毎日働くだけで両親の1カ月分になった」

上海や北京の女性が日本に対して抱くイメージは

# 幻影生んだ経済格差



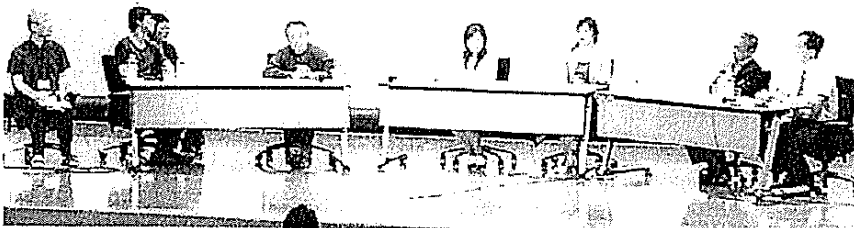
中国人花嫁の理想と現実について話す楊逸さん  
熊本市の熊本学園大

「とにかくお金持ち。地図で見ると小さい国だから、全部が東京だと思ってる」、「中国の男性はスーツを着たり、髪を整えたりしないから、日本人がそうしているだけでコロッといっちゃう」などと経済発展を遂げた現在の中国とは懸け離れた当時の様子を笑いを交え紹介。

日本人農家との見合いでも「一戸建て、山とつ、車2台とか言われて夢を授けるところが来てみると、人っ子ひとりいない山の中だったり、車の運転もできず、日本語もできない。中国はお金はないけど、人はたくさんいるから寂しくない。だけど、日本ではそうはいかない」。在日中国人向けの新聞記者をしていたころ、楊さんはこうした女性からの相談を多数受けた。「恋愛もせず、財産やイメージだけで結婚してしまおう」という女性側の問題点もあると指摘しながら、ビザ取得が容易になり日中結婚が増える可能性を示唆。「今後あなたの周りにも、悩んでいる中国人女性がいるかもしれないと意識してほしい」と話した。

講演に続き開催された。パ

## 日本はどこでも大都会、皆お金持ち…



ネルティス・カッシンにて、参加者は東アジア間の国際結婚や研修生問題について考えを述べた。

フィリピン人の継母を持つ韓国人少女の物語「走るチャウン」を撮った映画監督キム・テウンさん(40)は「家族のコミュニケーションが大事だと伝えたかった」と作品に込めた思いを語った。

一方で、疑問を投げ掛けるのは、熊本学園大外国語学部の岩佐昌隆教授(68)。「中国や韓国の中ではどうなのかということも考えないと、東アジアの共生というテーマが一面的な理解になる」

同映画祭の実行委員長で同学部の申明直教授(61)は「日本だけ、韓国だけということではなく、グローバルな次元で人の移動がある。映画祭をきっかけにして東アジアレベルで問題を解決、調整していくことが大事だ」と結論づけた。

(星原克也)

↑  
アジアから日本への研修生問題や、国際結婚について意見が交わされた東アジア移住共生映画祭の国際シンポジウム  
熊本市の熊本学園大



25(金) 御田植祭 瓦町市 野原八幡宮 10時

かすりの舞物にすげ笠の早乙女たちが、田植え歌に合わせながら神田で田植えをする。食物と自然への感謝と五穀豊穡(ほろじょう)を願う伝統行事 同窓会0968(62)1013

25(金) 夏越大祓(茅の輪くぐり) 熊本市 榎木天宮菅笠神社 17時

毎年定日。むかわね人形(ひとがた)に託し、茅の輪を左右と3回くぐって身につけたいけがひを払う伝統行事。神事後、茅輪くぐりは18~20時 坂さん0966(272)0032

25(金) 平成音楽大ブラスオーケストラ演奏会 熊本市 県立劇場 19時

本年度全日本吹奏楽コンクール難題曲を演奏。同大講師の田中直幸さん(クラリネット)、岡崎耕二さん(トランペット)の演奏も。全席自由1000円 同大吹奏楽部0966(282)0606

25(金)~27(日) はあもにいアエスタ 熊本市 男女共同参画センター はあもにい 10時

30団体のワークショップや体験(一部有料)。28日13時半・山本コウタロウさん、27日10時・13時半ファミリーコンサート、同日はバザー、展示も。入場無料 同所0966(345)2550

26(土) 黒川温泉露天風呂 無料開放 南小国町 同温泉の各施設 10~15時

露天風呂の日に合わせ同温泉旅館組合の24全旅館で、何軒でも利用可。入浴料が口蹄疫被害者慰労への義援金に協力。同組合インフォメーションセンター0987(44)0076

26(土) 村下孝蔵さんを思ふ会コンサート 阿蘇市 はな何草葉 18~20時半

県内外5組のギター・弾き語りバンド演奏で村下さんの名曲を。元兵・O・中沢登司さんも出演。1ドリンク付き1000円、150人・要事前確認 喫茶キャラリー-GEN0967(32)5933

26(土) ロアソン熊本ファン感謝祭 in 健軍 熊本市 健軍アーク 13~16時

全選手と監督、ロアソンくん来場。15時・ステージなど。14時・宇智智、南阿蘇選手鑑の贈呈パーティー。入場無料。牛深物産展も。公共交通機関で アスリートクラブ熊本096(283)1200

26(土) くまもと「水」検定オーブニングイベント 熊本市 ひびき広場 11~16時

節水強化月間を前に開催。3歳以上の特別受検(要切手代)や直前対策ミニ講座、パネル展示など。熊本商業高生の模造披露、うちわ無料配布も 市水保課096(328)2486

26(土) MUSIC FESTIVAL 熊本市 県立劇場 13~19時

熊本学園大7音楽サークルのジャズ、クラシック、ラテン、ロック、モダンフォークなど。書道・写真部作品展も。350円(当日50円増) 同大音楽サークル協議会090(7986)8557

26(土) 熊本市・城南町合併記念ウオーク 熊本市など 森島町のクレアバス停集合

9時。同バス停から城南町の歴史遺産の御園目げ、塚原古墳公園などを巡る約1.5km。小雨決行。参加費500円(資料+保険代など含む) くまもとウオーキング協会090(5946)2230

26(土) 部分月食をでっかく見よう会 山都町 市和高原天文台 19~22時

大型望遠鏡や双眼鏡で、天に近づける月を観察。スタッフによる月食や夏の天体についての解説もある。高校生以上300円、小学生200円 同所0967(82)3300

26(土) ファミリーコンサート・高崎裕士新和町公演 天草市 町民センター 19時

国内外に活動の場を広げる県出身の洋楽三味線奏者・高崎さん。ダイナミックで繊細なソノバチでびびりと音色をたっぷりと。入場無料 新和支所総務課0968(46)2111

26(土) 五家荘自然塾 ホタル祭り 八代市 五家荘自然塾 17~22時

ミニコンサートや神楽披露、ヤマメの振焼き・地鰯串焼き、だご汁など、バザー、抽せん会など。20時ごろからホタル観察会。地元の人たちの交流会も 同塾0965(67)5530

26(土) 部分月食観望会 八代市 さかもと八代天文台 19~22時

満月のほぼ半分が欠ける月食を望遠鏡などで観望。シミュレーションソフトなどを使いスタッフによる解説も。雨天時も実施。大人300円、小中学生150円 同所0965(45)3453

26(土) 東アジア移住共生映画祭 in 熊本 熊本市 熊本学園大

20日9時半・27日10時15分開場。同日で全国巡回10作品。27日・芥川辰作家の掛巻さんらシンボ。1日共通券1200円(当日300円増) 東アジア共生文化センター0966(202)2645

26(土)~8/1(日) 鹿央運まつり 山鹿市 鹿央物産館古代ハス園 7~17時

大夏ハスなど約20種類。見ごろは7月上旬~中旬。花がきれい。早朝に、物産館・レストラン・歴史所も開店。古代米の朝がゆ(500円)も 鹿央総合支所総務課0968(36)3111

27(日) 美空ひばりフィルムコンサート 瓦町市 総合文化センター 14時

映画の各場面やリサイタル、コンサート集、島のナレーションなどでつづる2時間17分の美空ひばりヒストリー。前売り1500円(当日300円増)ほか 同センター0968(66)4111

27(日) ハーン来日120年・生誕160年に思う 熊本市 小乳八雲熊本旧居 14~16時

ハーン作品読書の特別企画として、熊本八雲会の中村育史会長とアラン・ローゼン熊本大教授が対談でハーンについて語る。当日受け付け。要入館料 同所096(354)7842

27(日) 熊日肥後狂句大会 熊本市 熊日本社本館2階ホール 10~16時

熊本独特の文芸を楽しむ。乱吟(当日句)あり。選考と評定は当日、会場で発表。入選句には賞品、参加者全員に参加賞も。参加費500円 熊日市業部096(361)3383

27(日) 虫追い祭り 天草市 天草町高浜地区 8~10時半

高浜八幡宮で神事後、五色旗を先頭に草や木藪を晴らしながら、虫除けの御幣竹を田んぼに刺して歩く。小幡行だが突撃により神事のみの場合も 天草支所0969(42)1111

27(日) やつしろハートフルパフォーマンス 八代市 厚生会館 12~16時半

県内12団体約550人が集い、ダンスやバレエ、ストリートダンス、体操、太極拳などパフォーマンスを披露。抽選会も。入場料1000円(収銀金は全額寄付) 実行委090(3799)6830

27(日) レイ・シドニー ゴスペルライブ 人吉市 カルチャーパレス 15時

国際御旗チャリティーコンサートとして本場のゴスペル体験。地元出身ピアノ・バリオアルガン奏者のもとみこさんにも入場無料。パネル展、募金も 実行委090(5751)4024

29(火)・30(水) 夏のすてき山鹿 観光物産展 熊本市 ひびき広場 10~18時

特産品販路や観光案内、灯籠(とうろう)もなかなかなど特産品が当たるクイズ大会ほか。30日は保存会による山鹿行龍踊りの披露も。30日17時まで。山鹿市商工課0968(43)1413

30(水) 夏越大祓(茅の輪くぐり) 熊本市 加藤神社 14~22時

チガヤを束ねた茅の輪をくぐって半年の罪や災いを払い清め、無病息災を祈る。車やベットの用の茅の輪も 同神社096(352)7316。御船町の辺田見菅笠神社など各地の神社でも



おでかけ情報

「後」な返事は「さん」を「は」に置きかえて「はよう」でも。ざれた私を知った。長つ年上私、そこうかけ間の劇、そう、ユーロ、ばイメトを見かいた。検査すを眺め表現「ええ、だ、と」の我った。

西日本新聞 2010. 6. 5.

## 東アジア移住共生映画祭2010

今月末～9月

熊本市、北九州  
ロシア、阿蘇で

移民の暮らしや労働環境などを映画を通して考え、外国人との共生や多文化理解につなげようという「東アジア移住共生映画祭2010」が6月から9月にかけて、熊本市と阿蘇(熊本県西原村)、北九州市、ロシア沿海地方である。熊本市のNPO法人東アジア共生文化センターなどがつくる実行委員会が企画。過去2回は同市だけの開催だったが、今回から規模を拡大した。

## 相互理解へ、移民の労働環境伝える

目立つ社会だけでなく、凡庸な生活こそが大事と言いたかった。その界線で個人的なことが、普遍につながるも実感している。

丸山



Asi que si podemos hacer cambiar a esta compañía.

「Made in L.A.」

日本や韓国は今後、労働力人口が減り、工業や農業の現場で移民が増えていくとみられる。グローバリ化が進み、安い服や食料を大量輸出する中国では、地



「走るチャウン」

方から都市に集まった労働者が低賃金で働かされている。国際結婚で外国に渡る人もいる。「このような移民の実態を映画で伝える」として国境を越えた地方レベル、住民レベルの相互理解や課題の解消につなげたいと、実行委員長の由明直熊本学園大教授は話す。

日程は6月26、27日熊本学園大▽7月3日北九州市の九州国際大▽4日北九州市立大▽9月5日ロシア・ウリースク▽12日熊本県西原村の阿蘇西原村構造改善センター。入場料は各会場で設定している。

「走るチャウン」(08年、韓国)は、走ることが好きな少女は、走ることが好きな少女と、フィリピン出身の継母との心の交流を描いたロードムービー。北九州市立天を除く全会場で上映する。NPO法人東アジア共生文化センター096(202)2645。映画祭のホームページはhttp://nwitheastasia.org/

## 文化

ファクス 092(711)6243  
メール bunka@nishinippon.co.jp

「Made in L.A.」(07年、米国)は、米国の衣類工場で低賃金、長時間労働をするラテン系移民の女性たちが、企業を相手に

### 文化短信

▶講座「〈言語・国家・歴史〉そして〈教育〉」6日午後1時半、福岡市中央区渡辺通の河合塾福岡校701教室。思想や教育手法をめぐる40年前の「伝習館闘争」で懲戒解雇された元教師、茅嶋洋一さんが近代の公教育制度などを語る。参加無料。河合塾担当中島さん=092(714)4651。



「言葉はツからむ。僕じていた」

「同時発症の医療エッセー」(いまどちを向くべきか)1575円)は、高度複雑化する医療や制度に携わる中で抱えてきた問題意識、患者と向き合うことの大切さを率直に書く。いずれも石風社刊。

**HIS 30th** おかげさまで3000万人

**JAL JALWAYS** JALウェイズで行く **15回**の食事と充実の歓

ハワイ島2泊 マウイ島1泊 オア

ハワイの大自然にふれる

福岡・九州各発着

柳林 緒藤 伊瀨 橋中 大引 藤岡 甲坂 日愛 松桑 早瀬  
 〔二〕三 園田 中 園 控

責任教師 伊藤 清 均  
 監督 伊藤 清 均

小技がきく中尾や逆方が特徴。守備も二遊間を向にも打てる今吉のほか、足が速い選手が多く、ベンチからも声でもく、機動力を絡めた野球が立っている。

熊 本 二

水水 東 廣 和 水 麻 橋 南 北 川 東 町 田 合 南 南 嶺 北 川  
 出 湖 熊 三 出 託 松 出 大 白 湖 東 砲 力 出 出 長 阿 白  
 淳 亮 大 亮 真 介 大 将 人 輝 一 久 諒 洸 志 德 啓 成 人  
 泰 広 友 鉄 亮 雄 景 洗 洋 紀 法 大 俊 尚 啓 成 人 靖 秀  
 本 吉 川 尾 園 崎 口 塚 崎 沢 田 斐 中 渡 川 田 田 山 山 塚  
 坂 今 田 中 堂 検 西 平 宮 柳 原 甲 田 猿 梶 豊 竹 香 春 大  
 園 備 〔一〕三 園 田 中 園 控

責任教師 今村 伊藤  
 監督 伊藤 清 均

野 藤 崎 崎 里 里 崎 下 笹 々 田 田  
 高 斎 安 宮 北 北 佐 杉 木 信 佐 二 和  
 園 備 〔一〕三 園 田 中 園 控

責任教師 伊藤 清 均  
 監督 伊藤 清 均

昨夏の準優勝校で、昨秋の九州地区県大会は優勝。エース渡辺は多彩な変化球が持ち味。打撃は1ドから甲子園を狙う。

九州 学 院

野 院 島 名 麻 原 島 浦 野 崎 丘 南 野 院 明 火 明 南 志 城  
 大 州 学 部 藤 崎 武 藏 矢 志 士 鶴 城  
 大 九 嘉 玉 託 綱 蔭 河 波 綱 武 玉 矢 志 士 鶴 城  
 孝 朗 誠 誠 運 介 翼 平 仁 樹 秀 彦 ① ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩  
 政 志 一 央 之 勇 翔 尚 昂 和 英 隼 凌 尚 綾 隆 盛  
 渡 井 崎 高 永 村 田 下 塚 橋 岡 川 原 脇 浦 田 野 村 田  
 渡 坂 宮 富 松 中 下 山 井 大 岩 古 前 萩 瀧 西 岩 上 本 沼  
 園 備 〔一〕三 園 田 中 園 控

責任教師 平井 誠也  
 監督 坂井 宏 安

本 野 田 田 村 永 海 芹 田 田 佐 井 崎 村 口 上 地 泉 岡 村  
 藤 柳 土 池 中 増 鬼 井 本 藤 伊 坂 北 中 山 村 宮 和 増 芳  
 園 備 〔一〕三 園 田 中 園 控

責任教師 高倉 健一  
 監督 高倉 健一

昨年からのレギュラーチームを引っ張る。6月で、経験豊富な宮田や上から朝練を始め、士気が田らを軸に試合を運ぶ。高まってきた。今季初の主将の4番入口は声でも公式戦勝利を目指す。

熊 本 高 専 熊 本

麻 丘 和 部 陵 合 国 城 川 野 南 部 野 丘 麻 吉 朝 北 津 川  
 託 武 藏 三 北 花 力 小 宇 白 豊 西 北 豊 武 託 日 鶴 答 大 白  
 己 佳 郎 太 哉 平 貴 太 希 斗 亮 人 士 一 希 亮 介 道 希 太  
 昂 健 太 健 拓 修 友 祐 津 拓 大 拓 研 希 晃 僚 亮 成 太 洵  
 本 田 村 口 川 田 野 島 塚 方 野 田 方 沢 川 藤 井 崎 藤 辺  
 藤 宮 中 入 清 上 宇 福 大 緒 松 竹 緒 深 平 佐 餅 松 後 渡  
 園 備 〔一〕三 園 田 中 園 控

責任教師 高倉 健一  
 監督 高倉 健一

欧米・韓国の10作品上映

作品解説や講演・シンポジウム



「走れチャウン」の一場面(実行委提供)

映画を通じ、移住者との共生を考える「東アジア移住共生映画祭」が26、27の両日、熊本市大江2丁目の熊本学園大学で開かれる。

中国人少女らの長時間労働や、イスラム教徒の女性がかかるスカーフ(ヒジャーブ)などをテーマにした欧米や韓国の10作品を上映。26日には、韓国入少女とフィリピン出身の継母のロードムービー「走るチャウン」(2008年韓国)の上映後にキム・テ

熊本学園大

ヨシ監督の作品解説があり、27日は中国籍の芥川賞作家、楊逸さんの講演とシンポジウムがある。

実行委代表の申明直・熊本学園大教授(51)は「作品はプロパガンタのように『こうしなさい』と言ったもので

映画「カケラ」公開記念 監督と写真家 対談イベント 来月2日

映画監督の安藤モモ子さんと友人で写真家の川内倫子さんが7月2日、熊本市新市街の検査店で「つる」としてテーマに対談する。午後7時半から、1ドリンクつき2千円。要予約で30人限定。

はない。楽しく見て、世の中で起きていることを心で感じてくれればいい」。映画祭は7月から9月にかけて北九州市、ロシア沿海州、西原村の3カ所でも開かれる。

1日共通券は一般1200円

安藤さんのデビュー作「カケラ」が来月3日から熊本市のDenkikanで公開されるのを迎えたイベントで、3日には同映画館で舞台あいさつもある。「カケラ」は桜沢エリカさんの漫画を原作に、揺れ動く女の子の心理を描く。川内さんは2002年、「うたたね」「花火」の2冊で木村伊兵衛写真賞を受

「火の国 球児たちの夏」④は30日に掲載予定

円(当日券1500円)、学生千円、中学生以下は無料。問い合わせは実行委(096・202・2645)へ。

催、朝日新聞社協賛)の成績は以下の通り(敬称略)。

【A級】①西村寛②金森修  
 ③穴井正夫④大塚亮介⑤原田良則

【B級】①甲斐田智司②伊藤賢氏③梅原裕④池田幸弘  
 ⑤前田嘉一郎

【C級】①永松英治②倉光謙治③辻響一郎④橋口昭治⑤米田寿男

【D級】①日巻昭二郎②光永祥昭③鶴敬裕④北本國典⑤沢村秀一

【E級】①吉田晃②齋野修平③庄山進④井上文雄⑤田中雄三

賞している。問い合わせは検査店(096・3555・1276)。

A級1位に西村さん  
 荒尾で朝日新聞杯囲碁大会  
 20日に荒尾市社会教育総合センターで開かれた、第5回朝日新聞杯囲碁大会(荒尾棋院、朝日新聞荒尾販売店主

# 移民との交流描いた10作品



●映画「MADE IN L.A.」の一場面  
27日のシンポジウムに参加する楊逸さん（ともにNPO法人東アジア共生文化センター提供）

1日共通券は、一般12

本初公開の「ロニーを探して」（2009年、韓国）は、ソウル近郊の村を舞台に、テコンドー道場の師範とパンクラテシユ人の奇妙な友情を描いている。27日には、中国籍の作家として初めて芥川賞を受賞した楊逸さんと、フィリピン人の継母と陸上競技に励む少女の交流を描いた「走るチャウン」（2008年、韓国）のキム・テヨン監督をゲストに、シンポジウムも行われる。

映画祭は、北九州市（7月）、ロシア沿海州（9月）、西原村（9月）でも開かれる。

「東アジア共生文化センター」のシンポジウム

学園大で26、27日 楊逸さんのシンポジウム

海外からの移住民と現地の住民との共生を考える「東アジア移住共生映画祭2010」が26、27の両日、熊本市大江2の熊本学園大14号館高橋守雄ホールで開かれる。

上映されるのは、韓国や欧米の10作品。「MADE IN L.A.」（2007年、米国）は、ロサンゼルス衣類工場で低賃金、長時間労働に従事するラテン系移

中学生以下無料。問い合わせは、NPO法人東アジア共生文化センター（096・202・2645）へ。



容疑者とみられる

ナニメント 刺殺問題、職場の差別などに  
関する無料相談に応じ  
る。当日は096・3  
45・3110。面談  
の受け付けは事前に0  
96・343・830  
6まで。

村上ユリ子(85)瓦屋町  
湖上 雄三(77)宝来町  
大平 謙慎(91)願成寺町  
嶽村ヤエ子(89)灰久保町  
櫻永 壽子(88)鬼木町  
【荒尾市】  
塚本せつ子(60)桜山町  
坂本さわ子(68)川登  
【水俣市】  
宮内 文男(45)梅戸町

2010.6.22

はフェンスを乗り越え、  
て逃走したが、谷川教  
諭と近隣住民に取り押  
さえられ、建造物侵入  
容疑で山鹿署に逮捕  
れた。

谷川教諭は「無我夢  
中であまり覚えていな  
い」と照れ笑う。容疑  
者の男を大声で怒鳴り  
つけた酒井教諭は、当  
時の状況を身ぶり手ぶ  
りを交えて語った。

逮捕に感謝状

【澤本麻里子】

開放後、ダム湖がなくな  
って球磨川の水位が  
下がったことによる井  
戸枯れや地盤沈下など  
が指摘されている。協  
議会では、こうした問  
題や消防水利の確保、  
上流ダムの放流で水位  
が急上昇する際の安全  
対策などを話し合う。

「女工哀歌」走るチャウン」など

東アジア移住共生映画祭

26、27日 短・長編10本上映

熊本学園大

出稼ぎや国際結婚などによる  
「移住」をテーマにした「東ア  
ジア移住共生映画祭」が26、27  
日、熊本市大江2の熊本学園大  
高橋守雄記念ホールである。  
熊本市のNPO法人の代表ら  
による熊本実行委主催。期間中  
は米国やノルウェー、韓国など  
の短編と長編計10本が上映さ  
れ、8本は日本初公開となる。  
開幕作品の「女工哀歌(エレ  
ジー)」(05年、米国)は、中  
国都市部のシーン工場で時給  
7円で働く農村部の少女たちの  
ドキュメンタリー。「走るチャ  
ウン」(08年、韓国)は韓国人  
少女とフィリピン出身の継母と  
の心の交流を描いている。また

【勝野俊一郎】

出頭した。

「ワン構想事業が始まる」  
緯などについて質問が  
あり、回答は職員

和 磯部ハツエ(84)姫戸町姫浦  
小多サツ子(77)姫戸町姫浦  
塚本 繁二(85)松島町阿村  
【宇城市】  
木村 敏子(57)三角町郡浦  
田上幸一郎(86)不知火町松  
合 中本シズエ(96)不知火町長  
崎  
【阿蘇市】  
山部里美(53)一の宮町中通  
田辺 三生(81)赤水  
【合志市】  
早田 義雄(86)福原  
上田 典雄(82)須屋  
中山 真(88)合生  
【美里町】  
楠本 文夫(73)水川町鹿島  
【和水町】  
山川 清明(88)江栗  
【南関町】  
大里 輝子(79)関下  
【南阿蘇村】  
笠 理一(82)西併  
【西原村】  
野口トキエ(84)宮山  
【山都町】  
藪 要(80)千滝  
【水川町】  
田島 武(58)鹿野  
【芦北町】  
松下 咲(87)湯浦  
長崎 冬美(87)天月  
藤本麻理佳(33)田浦町  
【津奈木町】  
瀧田 真男(86)徳栄  
【錦町】  
黒木 毅(76)一武  
山本 良人(82)西  
【おさき町】  
山内 賢(86)深田東  
【多良木町】  
松岡 鶴男(81)黒肥地  
木村 竹雄(88)黒肥地  
田口千代子(80)四浦東  
【五木村】  
西原四十三(78)甲

自然のままの健康食品です。

丈夫、すぐにエネルギーに変わります!



熊本ならではの珍しい逸品  
ばんべいゆ  
晩白柚  
小産蜂蜜

ひと味違う香りとコク  
菜の花  
小産蜂蜜

さわやかすっきり  
れんげ  
小産蜂蜜

当社の蜂蜜は、一度簡単なる過をしている  
だけで、自然の風味を生かしています。

※数量に限りがありますので、品切れの際はご容赦ください。  
※はちみつは1歳未満のお子様には与えないでください。

◎熊本産蜂蜜(各種同料金)

各1本 1,200円 税込  
(180g) 送料別

堂

しんらぼんしょうどう

通信販売

お問い合わせ  
お申し込みは

0120-386-756

頁

「なんだ」と  
日本の大学に  
がすごい」「中国では」  
響は大きかった。「動感  
所」(仮称)は地上総が  
山形大学ナカ研究

「ナスカ」に研究所  
山形大では人文学部の  
坂井正人教授を中心と  
するナスカの地上  
研究が中心だ。毎年  
外の大が地上総に  
取り、彼の映像を本  
の動画などを紹介  
し始めた。

「ナスカ」に研究所  
山形大では人文学部の  
坂井正人教授を中心と  
するナスカの地上  
研究が中心だ。毎年  
外の大が地上総に  
取り、彼の映像を本  
の動画などを紹介  
し始めた。

空照射し、反  
18万発の距離を計  
測した。宮内庁など  
の調査とほぼ一致し、  
差は最大で数センチだ  
と(G.P.S)。  
空位電子  
の空間位置  
を把握して  
用地形図の作成に利用  
されるが、今回の方法は  
り高精度という。  
巨大古墳の大半は宮内  
省が把握している。管理  
の面で古くは戦前の地形図が  
ない。同研究所は「この方  
古墳(埴原)法なる古墳に立入ること  
高さ50メートル、墳丘の造形美が際立  
つ立体地形図が作れる」とし  
光を毎秒12万回

2011. 6. 2  
日

# 使ぐ

の交流が活発化  
に進化。西国  
りたい」と奔走

## 世界 いまを刻む

「ナスカ」に研究所  
山形大では人文学部の  
坂井正人教授を中心と  
するナスカの地上  
研究が中心だ。毎年  
外の大が地上総に  
取り、彼の映像を本  
の動画などを紹介  
し始めた。

山形大学は南米ペ  
ルの世界遺産「ナスカの地  
上絵」を芸術的に調査す  
るため、今秋にも現地  
に調査隊を派遣する。巨大  
研究拠点が完成する見込  
み。

「東アジア移住共生映画祭」  
が、26日に熊本市の  
熊本学園大で開かれた。  
27日には芥川賞作家橋本  
さんを迎えたシンポジウ  
ムも企画している。

### 東アジア移住共生映画祭 16作品を上映

熊本で始まる

同映画祭は2007年  
に始まった。3回目の今  
年は、熊本のほか7月に  
北九州市で、9月には朝  
鮮菜の移住が多いロシア  
の海州でも開かれ、韓  
国や米國などの計16作品  
を上映する。  
米大手パルメカ  
1「フオエバ」の  
国産離れて暮らす人々  
の多文化共生を考える  
「東アジア移住共生映画  
祭」が、26日に熊本市の  
熊本学園大で開かれた。  
27日には芥川賞作家橋本  
さんを迎えたシンポジウ  
ムも企画している。

### 山形大 「ナスカ」に研究所 滞在型の調査拠点を

山形大学は南米ペ  
ルの世界遺産「ナスカの地  
上絵」を芸術的に調査す  
るため、今秋にも現地  
に調査隊を派遣する。巨大  
研究拠点が完成する見込  
み。

山形大では人文学部の  
坂井正人教授を中心と  
するナスカの地上  
研究が中心だ。毎年  
外の大が地上総に  
取り、彼の映像を本  
の動画などを紹介  
し始めた。

2011. 6. 2  
日

山形大では人文学部の  
坂井正人教授を中心と  
するナスカの地上  
研究が中心だ。毎年  
外の大が地上総に  
取り、彼の映像を本  
の動画などを紹介  
し始めた。

山形大では人文学部の  
坂井正人教授を中心と  
するナスカの地上  
研究が中心だ。毎年  
外の大が地上総に  
取り、彼の映像を本  
の動画などを紹介  
し始めた。

山形大では人文学部の  
坂井正人教授を中心と  
するナスカの地上  
研究が中心だ。毎年  
外の大が地上総に  
取り、彼の映像を本  
の動画などを紹介  
し始めた。

山形大では人文学部の  
坂井正人教授を中心と  
するナスカの地上  
研究が中心だ。毎年  
外の大が地上総に  
取り、彼の映像を本  
の動画などを紹介  
し始めた。

2011. 6. 2  
日



山形大では人文学部の  
坂井正人教授を中心と  
するナスカの地上  
研究が中心だ。毎年  
外の大が地上総に  
取り、彼の映像を本  
の動画などを紹介  
し始めた。

山形大では人文学部の  
坂井正人教授を中心と  
するナスカの地上  
研究が中心だ。毎年  
外の大が地上総に  
取り、彼の映像を本  
の動画などを紹介  
し始めた。

山形大では人文学部の  
坂井正人教授を中心と  
するナスカの地上  
研究が中心だ。毎年  
外の大が地上総に  
取り、彼の映像を本  
の動画などを紹介  
し始めた。

2011. 6. 2  
日



2011. 6. 2  
日